

2025年度 第6回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2025年9月19日（金）

場 所 豊岡市役所本庁舎2階 大会議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前9時00分

閉会時間 午前10時00分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	飯田 正巳
委員	升田 敏行
委員	鈴木 千佳
委員	島崎 栄子

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	永井 義久
	教育総務課長	川崎 智朗
	教育施設課長	谷口 祥規
	学校教育課長	寺坂 浩司
	幼児育成課長	向原 芳江
	教育総務課参事兼課長補佐	旭 和則
	教育総務課教育総務係長	足立 美由紀

事務局以外 文化・スポーツ振興課文化芸術係長 田中 健太郎

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

飯田 正巳 委員

第2 前回の会議録の承認

8月18日（月）開催 第5回定例会

第3 教育長の報告

第4 観光文化部の報告

1 文化・スポーツ振興課

(1) 第75回豊岡市美術展について

第5 議事

- 報告第14号 寄附物件の受納について
- 報告第15号 令和7年9月市議会答弁概要について

第6 委員活動報告

開会 午前9時00分

(教育長)

ただ今から、2025年度第6回教育委員会会議を開会します。本日はすべての委員が出席しますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、飯田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。8月18日に開催しました第5回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回8月18日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

一般質問が9月8日から11日までありました。教育次長から詳細報告がありますが、不登校の問題、情報教育の問題、ふるさと教育の問題等はいつの議会でも必ずどなたかが質問されています。それらの質問を聞きながら思うのですが、学校ではたくさんの取組をしていますが、地域にあまり伝わっていないのではないかと。保護者に真意、一番大切なことが伝わっていないので

はないかと感じることがあります。私が研修センター所長をしていた際、当時の市長からよく言われたことで、「黙って良いことをするな。良いことをしていると言いながら良いことをしましょう。」と。確かにそうだと思います。私が校長していた時代とは違い、近年はホームページや、ブログを使い学校の行事を盛んに紹介するようになりました。しかし、大切なことを伝えているか、伝わっているかと考えるとそうではないように思います。「このような行事をしました」「皆頑張りました」「楽しそうにしていました」で終わる行事がとて多いと思います。例えば、自然学校やトライやるウィーク、運動会や体育祭、文化祭はなぜ開催するのか、どのような目的を持っているかが伝わっているかです。運動会、体育祭で今一番大切なことは、子どもの安心安全で熱中症対策です。中学校は軒並み 10 月開催です。10 月開催であれば、土日は中体連の大会があるため、開催できないため平日開催としています。そのことについて理解が得られないため苦情が入りました。そのことをきっちり説明することで、分かっていただけることがたくさんあると思います。

今回の議会対応で、コロナ前には行っていたが、コロナで廃止したこと、廃止していたが復活したこと、復活したが運営方法を変えたことの 3 つに分けて調査をしました。とても工夫して廃止や変更をしていますが、なぜ変えたのか説明がないため地域からは「やたらと減らしている」といった声が聞こえてきたりします。これが伝わる表現なのか、相手意識を持ち学校は情報発信をする。私たちもそうです。教育委員会だよりを出していますが、学校関係者しか分からない言葉を使う場合もあるため、保護者に伝わるか、私たちの真意が伝わるか、事実だけでなく、事実からどのようなことを読み取り、何を感じているのか、相手に伝わるように発信する。これが情報化社会で一番大切なことだと思います。

【日程 第 4 観光文化部の報告】

(教育長)

日程第 4 観光文化部の報告に移ります。文化・スポーツ振興課 (1) 第 76 回豊岡市美術展について、文化・スポーツ振興課文化芸術係長の説明をお願いします。

1 文化・スポーツ振興課

(1) 第76回豊岡市美術展について

《文化・スポーツ振興課文化芸術係長の説明概要》

第 76 回豊岡市美術展について、資料に基づき説明する。

会期は、10月30日から11月3日までの5日間で行う。時間は9時30分から午後6時まで。最終日の11月3日は午後5時で終了する。会場は、豊岡市総合体育館で開催する。

表彰は、11月3日にじばさんTAJIMAで開催する。表彰式の役割など事務局案として記載している。嶋教育長は、午前中の児童、生徒の部、午後の招待、一般、高校の部と1日参加予定である。教育委員の皆様は、午前中の児童、生徒の部の表彰授与、閉会あいさつを分担し、お願いしたい。変更等希望あれば可能である。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

これは市制 20 周年記念ですが、冠はつきませんか。

(文化・スポーツ振興課文化芸術係長)

冠をつけております。ポスターなどに市制 20 周年記念と記しています。

【日程 第 5 議事】

(教育長)

日程第 5 議事に移ります。

報告第 14 号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第 14 号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

個人 2 件の寄附申出があり、これを受納したため報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第 15 号 令和 7 年 9 月市議会答弁概要について、教育次長の説明を求めます。

○ 報告第 15 号 令和 7 年 9 月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和 7 年 9 月市議会答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

今回ネットで見えていましたが、最近の一般質問は、教育長が話すように、情報が多すぎることもありますが、議員自身が教育について勉強していただければこのような質問は出ないと感じることがありました。議員の教育に対する思いがあるのは分かりますが、質問ばかりで「こうした

らどうだろう。」と提案が出ていないと思いました。ふるさと教育の話がありましたが、地域に出ればお祭りがありますが、ある地区では祭りでおみこしが出たら露払いや帯同があります。幼児の頃から行事に参加した思い出がふるさと教育の基本だと思いますが、そのことが分からないまま、表面だけ「コウノトリだ。〇〇だ」と一生懸命に話されています。ふるさと教育は違う視点で心に響くものがあるのではないかなと、もう少し議員には勉強してほしいと思いながら聞いていました。

もう1つ感じたことは、先生方は一生懸命に頑張っていますが、地域と学校との連携がうまくいっているだろうか？あまりにも市民の方が自分のことにしか関心がないため、自分のことに通じていない場合は行っていないのでは、と見てしまいます。そうではなく、以前は子どもに関わることは放っておいてもやっていた環境であったが、今は大人が一生懸命に子どもに目を注ぐ時代です。しかし、注ぎ方が全体的な注ぎ方ではなく、針で刺すような注ぎ方をするため、そもそも市民の方が分かっているようで分かっていない。「学校は全体的に取りまとめている」と思っているため、学校と地域との連携でこれから大事なことは、運営協議会とPTAとでしっかり意識し「学校の教育環境はこうなっている」と情報が住民に伝わる工夫が大事だと思います。一生懸命に行くが、どうして針で突くような質問が出てくるのか残念な気持ちです。個人的な感想です。

(教育次長)

情報発信については、ずっと課題であって、テレビのコマーシャルのように出すと伝えることはありますが、チラシの配布について議員と議論させていただいたことがあり、取りにいく情報はなかなか伝わらないことがあるため、市側から出していく。1つの例として、豊岡市の公式LINEを活用した情報発信がありますが。一方課題として、情報が多すぎるとブロックされることがあるため、お互いに共有しながら行うしかないと思います。

(飯田委員)

たくさん情報がある中で、自分の欲しい情報にしか目がいかなく、他のことに目がいかないため、出ている情報が伝わらない。例えば、何かの会議で話し合っておけば、「そのようなことがあるのか。」と気づくことがあります。そういう部分が不足しているのではないかと感じます。

(教育次長)

議会を通じて教育長が答弁されているため、よく伝わったのではないかと思います。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第6 委員活動報告】

(教育長)

日程第6 委員活動内容に移ります。活動で感じられたことで、伝えたいことがありました

ら、お願いします。

（島崎委員）

私は一般社団法人ちいきのてに所属しており、昔は 29 の小学校区があり、29 のコミュニティが存在しています。私たち、ちいきのては 29 のコミュニティすべてと関わりをもたせていただき、その中で先程もありましたが、地域がどれだけ子どもたちと関わっているかと話があり、その中でどのような活動を地域がされているかご紹介します。

但東の高橋コミュニティが、地域広報に出されていますが、文面を読ませていただきたいと思います。6月19日（木）にイベントをされ、まとめを8月の広報でされています。イベントの日に、おむすびの会があり、会場を盛り上げてくれたのは、子どもフリマとカフェコーナーを担当した、子ども応援プロジェクトつばめという組織を高橋地区で作られています。これは高橋振興対策協議会と高橋人づくり部とした、各地域のコミュニティごとに作られている部会の子育て世代が中心となる事業ですが、家や学校ではできない体験や、子どもたちがやりたいことを子どもたち主体で実現する場をコンセプトに、令和4年4月に立ち上げられたところです。このイベントで子どもたちが好きなお店屋さんごっこをされました。そこから着想を得て、受付係、配膳係など子どもたちがそれぞれ行いたいこと、得意なことを担当しました。「自分が好きなことを任されているため、子どもたちが生き生きしていたと感じました」と感想を述べられていました。自主的に動いてくれて、大人のフォローはあまり必要ありませんでした。つばめのように子どもたちはいつか高橋地区から飛び立つかもしれないが、いつどこにいても素敵なふるさとだと思ってもらえるような思い出作りができたかと話されていました。

29 コミュニティ組織、地域づくりをしっかりとしないと考え、いろいろな課題を持っておられますが、少子化は当然のことながら、どのように子どもたちを育てていくか課題感を持っています。29 も組織があるため、非常に危機感を持つ地域などがバラバラです。温度感も全然違い、高橋はとても一生懸命されているなど思うところもあり、日高コミュニティでは8月に、こども食堂と題し子どもたちが集える場として、一般社団法人マロントマールさんと協力してされており、児童クラブもありますが、子どもたちに来てもらい、宿題など持ち込み集まる場を作られています。私は地域に所属している立場もあるため、こうした状況を定期的にお伝えしたいと思いますが、地域としてもこのような活動をされており、学校とどこまで情報共有されているか把握できていませんが、このような地域活動もされています。

（教育長）

それはどこがどのようなことをしているか共有できますか。そこにちいきのてがどのような関わり方をしているか。6月議会の太田議員の質問でその質問があり、地域づくり課が答弁できませんでした。これは人数がある程度いるコミュニティはできますが、小さなコミュニティで担い手がないところではなかなかできません。そこをどのように豊岡市として関わるかコミットメントできていない指摘がありました。そういった資料は、市は持っていますか。

（島崎委員）

地域づくり計画を各 29 組織全てが作っており、10 年間で地域をどうつくりたいかとし、自分たちのコミュニティはどうあるべきかといった課題感を持っています。地域をこのように作って

いきたいということが書いてあり、完成度は地域差がありますが、アクションプランのような形も作られています。各コミュニティで部会があり、例えば福祉、防災等の中で、教育を担当され、子どもたちの成長に対する支援事業をしていこうとされている地域もあります。細かい拾い上げは計画に反映されていませんが、地域づくり課もある程度は把握されていると思います。私たち、ちいきのての活動は29組織の現場に行っているため、情報共有させていただきたいです。

(升田委員)

8月の末に児童クラブの見学へ行かせていただきました。夏休みの児童クラブと通常の児童クラブの運営が、多少違うと思いますが、指導員さんは本当に大変だと思い、参加していました。暑いのをどうするか、部屋の中で子どもが1日中過ごすため、いろいろなカリキュラムを組み、子どもの気持ちを持続できるようにされています。高学年もばらばら来ており、随分体系も違うなと思いました。ただ広い所や、狭い所はどうしようもないですが、ゆったりでき、ここは落ち着いて過ごせそうだと思うところは、子どもの顔を見るとふわっとしてきているし、狭いところにいるとやはり子どもたちは大変だなという感じがしました。施設面については工夫していかないといけない面があると感じました。次は、通常の児童クラブに行かせていただける日を楽しみにしています。

別件で人権啓発協会にも関わっており、9月27日に県の中央大会を豊岡の地でします。教育長もお越しいただきますが、今準備が最後まで済み、来週最後の打ち合わせをし、始めようと思っています。とても良い機会であり、平田オリザ先生にも話をさせていただくため、皆さん機会があれば、27日の10時頃から全体会が始まるため参加していただけたらと思います。

(飯田委員)

最近稲刈りが進み、腰を伸ばして辺りを見ると、早や秋の兆しが強く、一部紅葉し始めている辺りを見ておりました。このほっとする時間が学校の先生方にあるのか、地域を見ていただく時があるだろうかと思い、先生方は忙しいなと感じております。先日校長先生方と一緒に、食事を共にする時があり、いろいろな情報を聞きながら話し、本当に先生方が生き生きしているのかの視点で参加させてもらいました。やはり校長先生が生き生きしてさわやかでないといけないのではと思います。最近是不祥事の問題がたくさん出ており、学校の先生がしたことを社会がすぐネタにすることがあり、豊岡には無いと思うため、先生方が生き活きとされ、学校そのものが生き活きとした学校にしてほしいと切に思い、今日は委員活動ではありませんが、時間をいただいたため、それだけは伝えたいと思いました。

活動報告では、今先ほど升田委員からありましたが、放課後児童クラブに行かせていただきました。こんなに地域のクラブによって差があるのかと実感しました。スタッフもですが、子どもたちがミニ学校のようにきれいに並び、時間を組んで勉強している。これから遊びの時間、ゲームの時間としており、本当に生き活きとしたクラブがあると思いきや、暑いのに詰め込まれている児童クラブもあり、このことが今後大きくなる子どもたちの過程の中で、何かに影響していくのではないかと思う時、環境は大事だなと思いました。何をするにも本当に環境は大事で、それぐらいショックや、うれしさを感じながら放課後児童クラブを見てきました。財源や状況もありますが、できるだけ良い方向に向かうようにできればと思いました。

私はたまたま少年野球のことで観客として見に行った際、この炎天下の中に少年野球は毎週土

曜日、日曜日と試合があります。審判の方も、選手も水を頭からかぶるように汗をかきながら試合に出ており、その姿を見たときにスタッフの皆さんも大変だなと思う一方、子どもたちもこんなに暑く暑いのに頑張っている。このことは将来に役立つよ、頑張れよとエールを送りたいなと思い、少年野球の大会を見させていただきました。暑いので、市から毎日不要不急の外出は避けてくださいと発信しています。それに関わらず、十分安全対策を講じながら大会が行われ、時間はズレますが、一生懸命されている姿に感銘しました。

県の教育委員研修会に行った際、先ほど話した部活の地域展開がありました。県からは明快な提案は出せないというのが結論ですが、子どもたちの要求するニーズの部活は、非常に広がります。今、野球や卓球など種目が決められているため、それが部活だとしているが、今やスポーツは広がり、それを含め、豊岡として何を部活にすれば良いのか、中体連や高体連との繋がりが無いスポーツがあるかも知れない。子どもたちがやりたいスポーツとは何か。要は心身ともに健康で、健やかにたくましく育つものが、部活の元々の起源じゃないかと思います。それを考えた時に難しいなと思いました。イメージが私自身出てきませんが、大変だなと思います。新聞に出ていましたが、スポーツ庁は小学校の体育教諭を展開に入れると話が出ていましたが、地域展開は先生だろうとお年寄りであろうと、若かろうとその部活に協力してくれる人、指導者を確保し、正式な部活というスタイルが確保できる体制づくりが大事なのではと思った時、やはり時間がかかるのではと思いました。

(鈴木委員)

8月21日の県の教育委員会研修会に参加させていただき、たいへん勉強になりました。まず、不登校についての講演を聴きました。その中で子ども時代の傷つき体験を数値で表すACEというものがありますが、不登校やいじめなどの学校でのACEの数値が1点増えるごとに成人期での引きこもりリスクが29%増えることが私は大変衝撃を受けました。このような子ども時代の傷つき体験が、大人になりメンタルの悪化や病気に大きく影響することが研究で分かっていることも勉強させていただきました。現在、不登校になってから、いじめが起こってからの支援体制がとても目立っていますが、それは子どもの傷つき体験という、子どもの失敗を待って行う支援体制であると先生が仰っていました。これからはそのような子どもの失敗を待って行う支援体制から、そうならないための予防支援対策に変更することが大変重要だと仰られており、私もそうだなと思いました。帰宅し豊岡の不登校アクションプランを見させていただきましたが、予防支援対策も落とし込んでいただいていた。サポートルームも少しずつ良い結果が出てきているように思います。これからも不登校のお子さんの支援をしていただき、また学校に来ることができているお子さんにも、寄り添い安心して過ごせる教育環境を整えていただければと思います。

中学校部活動の地域展開のお話を伺いました。正直これからの改革期間に、中学生となる子どもを持つ親としては、心配と不安が増して帰ってきました。国からも明確な具体的な策が降りてこないまま、県と市町村で頑張れ、何とかするようと言われる状況は危ないのではないかと個人的に思っています。その中で成長期の大事な時期の子どもたちをちゃんと任せられるのかということと、地域間の距離や家庭状況で体験格差が生まれないかと不安です。私は、中学生と小学生の子どもがいますが、中学校でのとても良い体験談を聞いているため、これから中学校に入る弟と妹は、中学校の部活にとっても楽しみや期待をしています。わが子だけではなく、他のお子さんとも一緒に気持ちだと思いますので、ぜひその期待に応えていただきたいです。いろいろな分野

の人が集まり、子どもたちの部活動をしっかり考えていただき、できることから進めていただきたいと思います。私も協力できることはさせていただきます。

飯田委員も升田委員も話されましたが、放課後児童クラブに夏休み期間中行かせてもらいましたが、施設の狭いところがあるなど残念に思いました。子どもたちの人数に対し施設が狭いと思うところに行かせてもらった時、子どもと話をする際とても声を張り上げて喋らないと聞こえないとか、子どもたち一人ひとり元気があり声が大きいため、私は 10 分ぐらいしかいませんでしたがしんどくなり、先生方に聞くと、しんどくなり静かな所で休んでいる子どももありますと話されていました。やはり施設の大きさは、ある程度余裕をもって必要だと実感をもって感じました。例えば、コミュニティセンターの部屋や、地域の協力があれば地区の会館も借りて、子どもたちを分散させるなど、そのような工夫も考えていただけたらと思います。

(幼児育成課長)

委員の皆さまが仰るとおり場所によって差はあります。

(升田委員)

八条が大変だと思いました。

(幼児育成課長)

外で遊べる時はまだ良いですが、夏は特に暑いため外に出られないこともあり、それらのことは以前から課題としてあります。

(教育長)

きれいな所ばかり見たのではなく実態や、大変な所を見ていただきました。

(飯田委員)

批判ではなく、大変だなと思う部分と、良いなと思う部分の感想です。

(鈴木委員)

支援員さんはとても頑張っておられ、お子さんのことをよく考えておられます。

(飯田委員)

「この方法が良い」と決めることでなく、それぞれの方法の中で、工夫されると良いと思います。あまりに過酷な状況となれば、何とかしてあげたいなという思いです。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんでしょうか。

それでは、次回の教育委員会会議は、10 月 23 日（木）午後 2 時 00 分から、豊岡市役所城崎庁舎 2 階大会議室で開催します。

これもちまして、第 6 回教育委員会会議を閉会いたします。

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2025年9月19日

教育長

委 員